

# 甲南Today

2009 OCT. NO. 34

甲友のリレーションで、未来を紡ぐ

甲南Today NO.34

2009年10月1日発行

【発行】

甲南学園広報部

〒656-8501

神戸市東灘区甲南町甲9-1 TEL 078-431-4341 (代)



描いたイラストが日本全国の書店に並び、  
偶然のチャンスをつかんだドリーム・ストーリー。



▲竹村さんがイラストを描いた「Switch」(講談社BOX)。

出版社の依頼から1カ月、必死にイラストを描く竹村さん自らを表現。

イラストを描くことが好きで、甲南大学では美術部に所属する竹村真有子さん。ある一通のメールから「彼女の人生が大きく動き始める。私のイラストをホームページに見た大手出版の方から新刊の小説の表紙と挿し絵を描いてみませんか?メールをくださったんです。最初は、絶対嘘だと疑っていましたが、本当に竹村さんはそのメールという本のイラストをわずか1カ月で描き上げることになる夜中まで創作に没頭する日々が続いた。でも、それが夢のようになんて、まだ信じられませんでした。たまたま描いているだけなので。」

竹村さんのイラストの持ち味はアメリカン・コミックと日本の浮世絵のイラストを融合した独特の世界観だ。「若い人には新しい」と言ってもらえ、年配の方には「懐かしい」ととの世の方にも受け入れられます。それが、イラストを描く原動力です。甲南大学では民俗学に興味を持ち、日本の古くからの伝承文化を学んでいる。また「好奇心旺盛で、大阪の新世界や古道具屋さんでツクワ、創作意欲が刺激される」という。私のイラストには浮世絵や妖怪も秘かに隠れている。たぶん、歴史や文化を学ばなければ、こうした作風は生まれなかったと思います。でも大学でたくさん見た友人たちも作品に影響を与えてくれます。甲南でとてもいい人多い、めちゃくちゃ楽しいんです。

## 文学部 4年次 竹村 真有子さん

小説のSwitchのイラスト提供がきっかけ、雑誌PANDA(講談社BOX)から「Switch」のイラストを依頼された。これはわたしの夢の物語。

## 〈特集1〉2つの新学部の今に迫る

マネジメント創造学部  
グローバルサイエンス学部

## 〈特集2〉学内外の高い評価を受ける

## 甲南の外国語教育に迫る

国際言語文化センター



なるほど!甲南アカデミア

「記憶」をテーマに

人間の脳のメカニズムを解明し、  
認知症の予防・改善に役立てる。

こちら甲南特搜部  
みなさまから寄せられた疑問を徹底調査!

PAO 岡本商店街へ行くこう!

PAO え!?谷崎潤一郎と

甲南学園が関係あるって本当?  
細雪と甲南学園の意外な関係

知能情報学部 前田多章 准教授



インターネットで甲南へ

<http://www.konan-u.ac.jp>





完成に向けて、準備進行中。

## 『平生鈞三郎日記』 翻刻・出版プロジェクト。

前号でお伝えしたとおり、ただいま甲南学園では、学園創立90周年記念事業として創立者平生鈞三郎の日記を出版・販売するべく鋭意準備を進めております。今回の巻頭ページでは、出版を控えた日記の中から、“心温まる”お話をみなさまにご紹介したいと思います。

甲南学園  
創立90周年  
記念事業

# 甲南Today

NO.34 2009 OCT.

夏から秋へうつる学園本キャンパス(11号館・会計大学院棟前)

撮影・柚実

http://www.yoshiyuzumi.com/

2  
WHAT'S NEW KONAN  
「貧しかった奨学金受給生が育英事業家に、平生鈞三郎が育てた「拾芳会」」

3  
(特集1)  
2つの新学部の「今」に迫る

7  
(特集2)  
学内外の高い評価を受ける  
甲南の外国語教育に迫る

マネージメント創造学部  
フロンティアサイエンス学部  
国際言語文化センター

9  
IT'S KONAN STYLE  
ひとりの経営者として大切にしていることは、甲南大学が教えてくれた「人へのやさしさ」です。

株式会社つる家代表取締役社長  
出崎 康司氏

11  
高・中TOPICS  
平生精神を受け継ぐ、独自の中高一貫教育。

17  
創部から未来へ甲南クラブスナップ(体育会水泳部  
孤独な戦いを乗り越える  
タフな精神と団結力は、  
現代にこそ輝く。

13  
フランス甲南学園トゥレーヌだより  
トゥレーヌ新1年生に聞く！  
フランスでの学校生活。

19  
こちら甲南特搜部  
みなさまから寄せられた疑問を徹底調査！

14  
甲南学園の歴史と文化をつくった人々

21  
岡本商店街へ行こう！  
(PART.2)  
え!?谷崎潤一郎と  
甲南学園が  
関係あるって本当？  
「細雪」と甲南学園の意外な関係」

15  
なるほど！甲南アカデミア  
「記憶」をテーマに  
人間の脳のメカニズムを解明し、  
認知症の予防・改善に役立てる。

知能情報学部 前田多章 准教授

裏表紙  
ONLY ONE ～個性を力へ～ VOL.5



【表紙の絵】西井 義晃 画

「ポートアイランドキャンパス(フロンティアサイエンス学部・研究科棟、先端生命工学研究棟)」

西井 義晃さん プロフィール 1961年甲南大学経済学部卒業 元自由美術会員

右記のURLで作品集をご覧いただけます http://webgarou.net

## 「貧しかった奨学金受給生が育英事業家に」 平生鈞三郎が育てた「拾芳会」

貧しさから学業を  
あきらめかけた平生

平生鈞三郎は、16歳で官費受給生として東京外国語学校に入學しました。途中制度が変わってその給付がなくなり貧窮に陥ったことから、平生は一時退学せざるを得ない状況に追い込まれました。しかし生徒時代に養子縁組した平生家からの援助のほか、再度の制度変更で政府からの学資給付も受けられるようになり、学業を継続することができました。平生が受けた官費の総額は、当時の200円あまりになつたそうです。

「社会に恩返しをしたい」  
——平生の願い

40代になり、ある程度の収入と地位を得るようになった平生は、ある日「今日の自分があるのは、官費をいただき高等教育を受けたおかげ」と学資の何十倍もの金額を文部省に持参し返済を申し出ました。ところが、「返済を受ける制度ではない」として受け付けられませんでした。

自らが若いときのような、勉強したくても貧しさのために進学することができない人たちの助けたいという思いを捨てきれなかった平生は、明治45年、47歳のとき、自らの資力が許す範囲で人格識見ともに優秀な学生を日本社会のために養成する育英事業を私費によりスタートさせたのでした。

はじめは知り合いの紹介で、後に全国の旧制中学・高等学校長から毎年推薦を得て選考した者に学資を与え、高等教育を受けさせました。この事業は約30年も続き、恩恵を受

けた人の集まりは、香りある花のつぼみを拾い上げるの意味から「拾芳会」と名付けられ、160人以上の受給生(以下、会員という)を持つ財団法人の組織に発展したのです。初期の学資援助額は、高等学校生に毎月10円から12円、大学生に15円で、返済無用。単に慈善活動ではなく、貧苦の俊英を援助し、社会のために役立つ人材にするのが目的で、学資を受ける条件として、卒業後、自らの利害を超越して社会に貢献することが求められ、誓約書の提出が必要でした。

会員を家族のように  
大切にしたい平生

当時、資産家が貧しい若者を書生として自分の家に住ませ、家事を手伝う代わりに学資を与えるということはよく見受けられましたが、拾芳会とはそれと大きく異なるものでした。

平生は、会員を神戸の自宅に住ませ、普通の学生と同じく自由な生活を送らせました。数年間会員として平生家が通った地方の話によると、書生や使用人のような扱を受けたことはまったなく、平生の妻や子どもたちまでもがうちのお父さんが大事にしている学生さんという気持ちで接してくれ、家族の一員として暮らせたそうです。平生は毎日仕事から帰宅すると、会員数人及び妻子とともに食事をしました。ちなみに、平生家の食事はいつも質素なものであったとのこと。

親子はど年の違う会員たちにも平生は対等に接し、平生家はいつも楽しく自由な雰囲気満ちていました。一方、遠く離れた会員には、学資を届ける際、語りかけるような自筆

の手紙を添えるなど、実の子と同様の愛情を注ぎました。通常なら、このように手塩にかけて育てた後は、師弟関係を求めがちですが、平生はそれを絶ち、学生が社会に出ると一切干渉しませんでした。私欲を持たない平生らしいエピソードの1つです。

拾芳会で育つた人のほとんどは、医者、学者、教師、裁判官・弁護士、官財界の中心的存在となつて、平生の願いとなり社会のために活動が続けました。後に甲南学園の理事長や教授、甲南病院の院長や医師になった人もいます。毎年夏には平生邸に会員が集い、それぞれが自らの近況を報告すると平生は大いに喜んでます。

平生没後の拾芳会

平生の没後、昭和34年に財団法人は解散し、拾芳会の財産になつていた平生の住宅と敷地などは彼が設立した甲南病院に移譲されましたが、数年後に同じく平生が創立した甲南学園が譲り受けました。現在はその跡地に同窓会が「平生記念館」を建て、みなさんにご活用いただいています。また、現在は高齢になられた会員や会員のご遺族は毎年関西と関東で「拾芳会」を開き、平生の遺徳を偲んでいます。

このページは、当「甲南Today」に連載中の「甲南学園の歴史と文化をつつた人々」でおなじみ卒業生の浜田邦夫さん(1953年甲南高等学校、1955年甲南大学経済学部卒)からお話をお聞きし制作いたしました。浜田さんのお父さんは拾芳会の第1期生で、浜田さんは現在、拾芳会の幹事を務めていらっしゃいます。



CUBE 西宮

新1年次生たちが語る、  
マネジメント創造学部1年次の魅力。

今までの大学教育の枠にとらわれない、新しいスタイルをめざす「マネジメント創造学部」。  
4月に新しく誕生したこの学部の今を伝えるため、実際に学ぶ学生たちが語ってくれました。

※「CUBE」はマネジメント創造学部と西宮キャンパス共通の愛称です。

CUBE独自の学びを通じて、  
自分たちの成長を実感。

入学から4カ月が経ちましたが、自分が成長したと思うこと、CUBEの良さを実感されることはありませんか？

岡本 僕は「交流プロジェクト」では企画の立案やプレゼンテーションには自信があったけど、すべて英語で行うことは正直あせりしました。英語に自信があった久後さんはどう？

久後 自信があったつもりでしたが、もう一度きちんと英語を勉強しようと思いました。CUBEではネイティブ教員による授業が多いので、2年次生からは専門科目も英語で学べるので、かなり鍛えられると思います。

岡本 そもそもマネジメント創造学部は、授業が従来の大学と違いよね。ほんとどの授業が15人〜20人の少人数制授業だから、先生や仲間との距離が近く、気軽に質問ができたり、話しかけやすいなど、積極的な環境が整っているのが魅力です。

古川 僕は隣に西宮ガーデンズでアンケート調査を実施し、フィールドワークやプレゼンテーションが学べる基礎力トレーニング



マネジメント創造学部1年次  
久後 朱里佳さん

さまざまな期待を胸に  
CUBEで学ぶ新1年次生。

みなさん、第一期生ですがこの新学部に入學した理由は何だったのでしょうか？

岡本 僕は高校で、企画科という珍しい学科でした。マーケティングやブランディングなどを学んでいて、プレゼンテーションするのことも慣れています。それをより生かしてビジネスの専門も深められる学部だと思ったからです。

久後 私は高校時代は国際科で英語が大好きでした。CUBEは英語でのコミュニケーション力を養うことは基本で、国際的な視野を持って思考するという特徴がある意味



マネジメント創造学部1年次  
十合 平さん

入学前から自主的に学ぶ、  
「交流プロジェクト」。

——実践的といえは、4月末に、CUBE西宮キャンパスの留学生との「交流プロジェクト」があったと伺いました。

古川 僕は「新学部」という点に魅力を感じました。大学が学部を新設する理由に、社会のニーズに応えるということがあると思うんです。だから、ここで学べば実社会に役立つ多くの知識が身に付けられると考えました。実践的な学びがマネジメント創造学部の魅力です。

私の高校3年間の力試しをしようと思っ

十合 僕の場合は、オープンキャンパスで佐藤治正学部長のプレゼンテーションを聞いて、「自分たちがいい環境をつくりたい」と一緒にこの学部を新しい作品としてつくりたいという言葉に、佐藤学部長の胸に響いてしまったほど。もっと話を聞きたい、絶対入学する！と決意しました。



マネジメント創造学部1年次  
古川 尚之さん

科目が印象的でした。他には家庭用ゲームの企画を考えて企業の担当者相手にプレゼンテーションを行う授業があるなど、主体的に学べる授業が多いから積極性がつくし、社会人の方とも交流する機会が多いから、そこから学ぶことも多いと思います。

十合 英語が使っていないと、コミュニケーションがとれない。授業で習った英語を、友だちやネイティブの先生を相手にすぐ使える環境だから、自然と英語力を高めているのがうれしいですね。

マネジメント創造学部で4カ月学んで気づ

いたのは、行動力や積極性は大切だけれど、実践するための理論も重要だということ。行動するにしても、しっかりとした考えがないと、行けばうまくいかないことを、留学生交流プロジェクトや多くの授業から感じました。

古川 僕も十合さんの意見に近いですね。話し合いひとつでも、自分の意思を伝えるためには、何に重点を置いて、どのように相手に説明するのか、理論的な考え方が必要なのことを痛感しました。

岡本 そのことに気づいたおかげで、僕は自分で考えたことを行動に移せるようになりました。途上国支援のために「デジタル募金」を企画し、学内で実現できたのはうれしかったですね。

久後 そうそう。今までだったらあきらめていたこと

ここがCUBE  
発想！

1 学生をひとつにつなげ、  
CUBEを支える「CUBE SNS」。

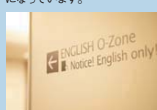
CUBEが独自に開設するSNSで、CUBE生は入学前から全員参加。留学生との交流プロジェクトは、このサイトのコミュニティで企画されました。 ※ソーシャルネットワークサービスの略。

2 飲談時にも利用して、  
会話表現力を高める  
「イングリッシュ・  
オンライン・ゾーン」。

英語が使用してはいけないエリア。基本的に英語、案内板やTVモニターもすべて英語表記になっています。

3 募金してもらいたい  
場所を設置した  
「デジタル募金ボックス」。

飲み終わった紙コップを入れたら、10円が戻る機械の横に募金箱を設置。集まった募金はNGOなどに寄付します。



マネジメント創造学部1年次  
岡本 健介さん

久後 岡本さんと私が参加したチームは「学生ができる国際支援」というテーマで発表しました。国際問題について考えることや留学生に英語でプレゼンテーションすること、そのすべてが初体験で最初少し緊張してしまいましたが、たいへんという要望に応えてくれる、良い循環です。だから意欲がますます湧いてくる、良い循環です。

古川 プレゼンテーション後は留学生たちと私たちががんばれば実現できることが分かり、少し成長できたと思います。

十合 僕も自信がついて、音楽でチャリティーイベントを行う「F.A.T.O」という自主団体を立ち上げました。今後はこの活動で得た募金を途上国に寄付するなど、国際問題に深く関わりたいですね。

岡本 僕は、2年次生から始まるプロジェクト科目が楽しみです。少人数のチームで取り組みながら、さらに、経済経営、国際、政策の3つの学問分野を横断して興味あるテーマを研究できるの、今まで気づかなかった考え方や新しい発見がありそうですね。

古川 岡本さんと同じく、プロジェクト科目に興味があります。専門知識やスキルはもってるんだけど、いろんな人との交流を体験してコミュニケーション力やリーダーシップ、プレゼンテーション力など社会に必要な力を養っていききたいですね。

久後 CUBEは学内外問わず人との交流が盛んだから、絶対身につくと思います(笑)。

## 学生たちが感じる、FIRSTのココがいい！

フロンティアサイエンス学部（FIRST）で、4カ月間学んだ新1年生たち。実際にFIRSTで学ぶ5人の学生に、その魅力について語ってもらいました。

### 1年次から取り組む実験が、知的好奇心を刺激。

——4カ月間の学びで感じた、FIRSTの良さを教えてください。

南 僕が感じたのは実験が多いこと。他の大学なら高年次で行う実験を、1年次から取り組めるのは魅力ですね。例えば、今僕は、自分たちで組織実験を行い、大腸菌から蛍光タンパク質を抽出する実験をしています。1年次からこうした実験ができる大学はあまりないと思います。

国広 確かに。実験は、機材を使って実際に手を動かしながら作業をするから、頭だけで覚えるよりもしっかりと覚えられます。

松下 それはありますね。実験の過程を観察するから、なぜその結果になるのかがとてもよく理解できました。

谷川 しかも、実験にはデータ集めや下調べが必要だから、私は実験前にしっかりと勉強する癖もついた気がします。

熊野 僕は、1つの分野を多角的に考察できるところが良かったですね。例えば、環境問題を掘り下げるにしても、生物学、化学、物理学など、無数のアプローチがあることを知りました。

松下 視野が広がると言えば、僕の場合、いろいろな意見が交換できるのもいいと思いました。やっ



フロンティアサイエンス学部1年次  
まつした たらう  
松下 太郎さん



フロンティアサイエンス学部1年次  
みなみ ひろまさ  
南 宏匡さん



フロンティアサイエンス学部1年次  
くにひろ しおり  
国広 潮里さん



フロンティアサイエンス学部1年次  
くまの たかゆき  
熊野 尊之さん



フロンティアサイエンス学部1年次  
たにがわ ありさ  
谷川 亜里紗さん

ぱり、人ひとりの考え方には限界があるから、自分では思いつかない発見があるはずですね。

南 来年は後輩もできるから、もっといろんな交流が増えるといいですね。コミュニケーション力もつきそうです。



### 知識を深め合える学習環境。 FIRST独自の「マイラボ」。

——FIRSTの特徴的な「マイラボ」を、みなさんはどのように活用していますか？

国広 私は、予習復習やレポート作成をほとんどマイラボでしています。わからないことがあっても、すぐ近くに先生の研究室があって、丁寧に教えてもらえるから自習もはかどります。

南 自宅と違って誘惑もないですもんね。僕は、解けない問題や分からないことは、友だちに相談しています。図書館と違って、意見を言い合えるから

ちょっと熱が入ったりしますけど（笑）。

松下 2人の言うように、タテ（先生・大学院生）とヨコ（同級生）の距離がとて近いですよね。先生や先輩が取り組んでいる研究やプレゼンテーションも見学できるので、いい刺激になります。

谷川 つながりと言えば、私はマイラボで友だちができました。再生医療に興味があり、別の分野を学んでいる学生との交流はいい刺激になります。

国広 私も谷川さんのように、先生や友だち、いろんな人と交流することで、積極性が身についたような気がしますね。知らない人に話しかけることに抵抗がなくなりました。

熊野 僕が感じるマイラボの魅力は、自分と違う分野を学んでいる学生が隣の席になったり、先生や院生と同じフロアで学んだり、それぞれの知識を深め合えるところ。いろんな情報が集まるから、自分では思いつけないアイデアも生まれると思います。



マイラボ

研究ゾーン

マイラボって？

学生全員に与えられる個人専用デスクとスペースです。自分の居場所として、自由に活用できます。

個性を尊重し、自由に学ぶ。  
甲南精神を  
かたちにした学部。

私自身も甲南生として「個性を尊重した人物教育」という甲南精神を肌で感じながら学んできました。実際、私の学生時代には活発で個性豊かな学生が多かったですし、自分の興味のあることを学べる環境が充実していて、皆が自由に学び、さまざまなことにチャレンジしていました。この4月に誕生した新学部「フロンティアサイエンス学部」も、興味のあることを自在に学べる「ポリバレンス教育」や、学生たちの学ぶ意欲を支える「マイラボ」など、個性を伸ばす教育環境が整っており、甲南精神が色濃く反映された学部であるように思います。学生のみなさんには、甲南精神を感じながら、個性を發揮できる自分だけの学び方を見つけて欲しいと思います。

フロンティアサイエンス学部  
三好 大輔 准教授



# キーワードは、「ボーダーレス」に学ぶ。 それが、フロンティアサイエンス学部。

次代のライフサイエンスを担い、社会への貢献をめざす「フロンティアサイエンス学部」。学びのフィールドを学外へと広げ、従来の学問領域にしばられない、自由な学びを展開するこの学部の魅力に迫ります。

※[FIRST]はフロンティアサイエンス学部とポートアイランドキャンパスの変換です。

## 学外へ広がる学び

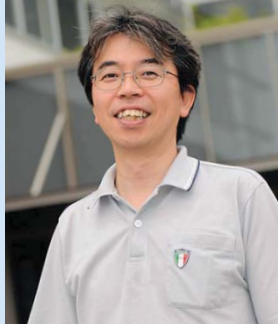


フロンティアサイエンス学部  
西方 敬人 教授

学外へと知の連携を広げ、  
新たな生命科学の  
研究拠点となる。

このポートアイランドは、神戸市が掲げる医療産業都市構想の中核を担う地として、100を超える医療研究所や医療系企業、病院などが集結しています。フロンティアサイエンス学部（FIRST）は、この地の利を生かし、学外を学びのフィールドととらえる「アイランドシップ教育推進」の展開を推進しています。その内容の1つはFIRSTの近くにある「理化学研究所再生・再生科学総合研究センター（ORC）」との連携です。現在は研究者の交流のみですが、今後はORCが開催するシンポジウムや学会に学生を参加させ、最先端研究の発表やノーベル賞クラスの研究者に触れることにより、学生の意識を高めることを目標としています。そして、もう1つは「近隣の独立行政法人等との連携」です。これは、今まで細かった大学と企業とのパイプを太くし、企業での見学やインターンシップを実施することが目的です。そして、学生たちの職業観を養い、就職へつなげることを計画しています。また、企業には、FIRSTで開催するシンポジウムや学会の参加を依頼し、甲南大学に在籍する研究者やその研究成果を知っていたいただく場を提供。さらに、FIRSTと交流の深い学外の研究者と企業をつなげる、窓口としての役割も担っていくことを考えています。このように、フロンティアサイエンス学部は、大学の枠を超えて学生が学び、大学そのものが地域や社会に貢献できる、新たな生命科学の研究拠点となることをめざしています。

## 学内で広がる学び



フロンティアサイエンス学部  
村嶋 貴之 教授

分野や教室の枠を超え、  
知識を共有する学習環境。

フロンティアサイエンス学部（FIRST）では、「ファーストクラスの教育をめざして、学生が自由に学び、個性を伸ばせる環境を整えています。その代表的なものが「ポリバレンス教育」です。これは、1つの専門分野を学ぶ際に、複数の教員から指導を受けられるシステム。例えば、がん細胞について研究したい学生は、遺伝子の専門教員の指導を受けながら、薬学や細胞分野の教員からも指導を受け、1つのテーマをさまざまな角度から掘り深めることができます。そして、この教育のベースになっているのが少人数教育です。入学定員35名に対し、15人の専任教員が指導。つまり、わずか2〜3名の学生を1人の教員が受け持つというきめ細やかな教育を徹底しています。そのため、学生と教員の距離が近く、気軽に質問できるなど、学生が積極的な環境を実現しています。さらにFIRSTでは、学生一人ひとりに学習スペース「マイラボ」を用意。教員が常駐する研究室と同じフロアに設けることで、教員と大学院生とともに学べる知的交流の場を実現しました。これにより、周囲の学生や教員が集まり、突然ミミ講義が始まったりするなど、教員・大学院生が持つ知識を学生が共有できる環境を整えています。FIRSTは、これらの充実した教育を通して、社会に貢献できる優れた研究者を世に送り出していきます。





# 甲南大学の外国語教育に迫る

## 学内外の高い評価を受ける、甲南大学の外国語教育。国際言語文化センターの今。

「大学ランキング2010」の「外国語に対する学生の満足度」で第10位に選ばれるなど、社会から高い評価を受ける甲南大学の外国語教育が、今年設立15周年を迎えます。その中心を担ってきた国際言語文化センターが、今年設立15周年を迎えます。同センターの胡金定所長が、甲南大学の外国語教育への取り組みについて語ります。



国際言語文化センター所長  
**胡金定** 教授  
1956年、中国福建省生まれ。廈門大学で日本語を専攻し、85年に来日。甲南大学には96年に着任。2007年より、国際言語文化センター所長に就任。

### 従来の日本の大学における外国語教育を改革し、世界で活躍する人材を育てています

的な外国語教育改革に着手。明治以来、日本の語学教育の主流だった「読む・書く・中心の学びから」「読む・書く・聞く・話す」の4つの能力を養う学びへと方向転換を行いました。本当に必要とされる外国語の能力とは、学問的に知識を使うことができる「使える外国語」。言文センターの役割は、まさにこの「使える外国語」と異文化理解力を身につけた人材を育てることです。

「使える外国語」を養成するために、言文センターは、少人数教育を徹底し、コミュニケーション「双方向型」な授業を行うことで、学生が楽しく学ぶ雰囲気をつくることに力を入れてきました。

少人数教育には、学生と教員の距離が近く、信頼関係をつくりやすいというメリットがあります。さらに授業が楽しければ、学生は積極的に発言し、学びへのモチベーションが高くなります。これらは語学の授業で何よりも大切であり、いわゆる大講義室における講義と異なる部分です。

「使える外国語」を身につけるために、もう1つ必要なのは、中・上級レベルの授業を充実させること。大半の日本の大学で行われてい

#### 「使える外国語」の養成方法

読む 書く 聞く 話す をバランスよく学習



1年次 基礎 2年次以上 中・上級 卒業後 卒業後

発音や文法など、基本をきっちり身につけます。 知識や自分の考えを外国語で伝えることができます。 外国語を駆使して活躍する卒業生が大半です。

中・上級科目を修得して、はじめて「使える外国語」になります。

**新たな教授法の開発や、教員間の連携を積極的に推進。**  
外国語教育の効果向上には、教員側の取り組みが非常に重要です。言文センターでは、教授会を設置し組織全体で、カリキュラム開発や学習到達目標の設定などの先進的な改革を絶えず行っています。「センター」でありながら教授会を設置している例は他大学ではあまり見られません。また、学生のモチベーションを上げ積極的に

グローバル化が進む現在では、「使える外国語」と異文化理解力を持った人材が社会からより求められています。言文センターは、こうした能力を備えた人材を多く育成するために、これかも改革に取り組んでいます。



「外国語の授業には常に笑いが必要」と語る胡教授。優しくユーモア溢れる人柄が印象的です。

#### 創立者の精神を受け継ぎ、日本初のセンターを設立。

国際言語文化センター（以下、言文センター）は、甲南大学全学の外国語教育、教材開発、カリキュラム開発などを行う、異文化理解教育の中枢をなす教育研究機関です。「複数の言語の修得を通して、異文化と自文化を理解する広い視野を育み、多言語・多文化主義の複眼的な思考と多様な価値観を育成する」ことを基本理念に、英語、独語、仏語、中国語、韓国語の5言語の講座を開講しています。

甲南大学が言文センターを設立した当時、日本の大学で外国語教育に関する独立したセンターを持つことは大変珍しいことでした。甲南大学の創立者である平生鈞三郎は、「世界に通用する紳士・淑女たれ」という言葉を教育理念として掲げています。日本の大学において先進的な組織となった言文センターは、平生の精神を受け継ぎ、世界を舞台に活躍する人材の育成をめざして設立されたのです。

#### 生きた外国語の修得をめざして、先進的な改革を数多く実行。

言文センターは、設立当初から数々の先進的な改革を実行してきました。まず、教員としての役割です。言文センターでは、教授法を専門とする教員が全教員の2/3を占め、学生の積極性を引き出す授業を行うために、新たな教授法の開発や教員間の連携などを積極的に推進。他の教員の授業方法を参考にするための公算制度など、現在では多くの大学が取り入れている制度もいち早く導入した実績もあります。

さらに、言文センターは、社会人を対象にした講座を開講するなど、設立以来、生涯教育も重視しています。

以上のように、言文センターは、日本の大学の外国語教育において数々の先進的な事例をつとめてまいりました。その取り組みに対する評価は高く、5年前には15位だった大学ランキングの順位は、最新の調査では10位にランキングされるなど、躍進を遂げています。世界を舞台に活躍する卒業生も多数輩出しており、留学先の中国で起業し、経営者になった卒業生や、大学の教員になった卒業生、国連ボランティアに従事する卒業生などが生まれています。言文センターは、甲南大学の外国語教育の質を高める上で、非常に大きな役割を果たしてきたのです。

#### キーワード

##### ①「大学ランキング」

「大学ランキング2010」週刊朝日進学MOOKでは、外国語に対する満足度で全国10位にランキング。関西の大学では最上位で、5年前の15位から大きく躍進するなど、甲南大学の外国語教育は高く評価されています。

##### ■外国語に対する学生の満足度

|          |         |
|----------|---------|
| 1 東京外国語大 | 6 南山大   |
| 2 国際基督教大 | 7 東海大   |
| 3 津田塾大   | 8 東京女子大 |
| 4 獨協大    | 9 西南学院大 |
| 5 上智大    | 10 甲南大  |

##### ②「課外学習の支援」

国際言語文化センターでは、授業以外にも外国語を学びたい学生を支援するさまざまな制度を設けています。

##### ■外国語学習相談アワー

国際言語文化センターの専任教員が、学生からの言語学習方法や留学、進路などに関する相談に応じる制度です。

##### ■チューター制度

各言語のネイティブ、あるいは留学生がチューターを担当し、現地事情に関する質問や相談に応じます。



##### ■外国語合宿

平生セミナーハウスで、第2外国語の合宿を開催。2泊3日の合宿中は、日本語を禁止し、外国語体験学習をつくりきます。

##### ③「社会人向け講座」

国際言語文化センターでは、社会人を対象にした講座を設置。地域住民や、我が子に甲南大学で生き生きと語学を学ぶ姿に感動した在学生の父母などが講座を受講しています。

##### ■言語講座

英・独・仏・中・韓の5言語の講座を開講。前期と後期でそれぞれ10回ずつ、毎週土曜日に開講しています。

##### ■社会人講座

世界の言語と文化、多言語・多文化、異文化理解などをテーマに、国際言語文化センターの教員が講演を行います。

#### 学生の意欲にこたえる、充実した学習環境も整えています。

##### ■CALL教室

40台の学生用コンピュータを設置。1人1台のパソコンを通じて、学内外と教室をネットワイクで結んだ幅広い講義を展開しています。



##### ■マルチメディア教室

カセットテープとMDをベースに、インターネットや高機能の大型液晶プロジェクターを使用した講義などを行っています。

##### ■マルチメディア自習室

パソコンやDVDなどをセトリした、10台の学生自習用ブースを設置。授業の予習・復習や、TOEFL®、TOEIC®の試験対策など、自由に利用可能です。



第一線で活躍する卒業生に、  
ご自身の生き方について  
お話を伺うこのコーナー。  
今回は日本を代表する料理亭  
京都・西陣のつる家を受け継ぐ  
出崎康司さんにインタビューします。

## ひとりの経営者として

伝統に新風を吹き込んだ。

私が家業を継いだのが1997年冬。パ  
ブルがはじけ、日本の景気が後退していった  
時期。つる家も業績が伸び悩んでいたとき  
でした。先につる家を継いでいた兄とともに  
、今後の経営計画を模索する毎日。兄が  
つる家の伝統を守りながら、私が前衛的な  
開拓するという役割を担いました。

伝統を大切にすると社風ですが、祖父の  
時代からつる家の「おもてなしの心」は、  
料理しつらえ・サービスという複数の側  
面の「パラス」が大切であるというモットー  
が根付いています。それは、言いかえれば  
「時代に合わせいく」とも言えます。  
伝統のある店であり新しいことにチャ  
レンジするような提案をすると、それに反  
対する保守的な意見も出てきます。私は  
「伝統だけにとらわれては前進はない。  
伝統は守りながらもお客様のためには改革  
が必要」と考えており、その自分自身のボ  
リシーこそがつる家のモットーでもあると  
信じています。革新は、「伝統」と異なる  
ものやそれを壊したり汚したりするもので  
はなく、伝統に付加価値を与えるための  
手段なのです。それをつる家で働く人た  
ち、それこそ私よりずっと先輩もいるわけ  
ですが、その方たちに理解してもらうことに  
努力しました。そして、つる家の味とサービ  
スでより多くの方々に喜んでいただきたい  
との願いを込め、おせち料理やお弁当を百  
貨店で販売する物販事業を拡大、さらに、



東京での店舗展開計画を実行してきまし  
た。今後も時代を見据えながら、つる家の  
看板を守り育てていきたいと考えています。

## すべての経験が

楽しみであり、仕事である。

新たなフィールドに踏み出して実感した  
ことは、「自分からアクションを起こさない  
と道は開けない」ということです。伝統を  
重んじる家で育った私ですが、新しいこ  
とに挑戦することは得意分野です。何事にも  
「楽しんで取り組み、別方向から見えてみ  
る」という性格だからかも知れません。  
私は街を歩くことが大好きで、時間があ  
ればしつらえつらえとこちらを探索してい  
るのですが、そんなときも常に頭の中では  
新しい店舗を出すことを考えています。ま  
た、おいしいものを食べることも大好きで、  
レストランなどで私が心地よいと感じたサー  
ビスは、参考にさせていただくなど、今の時  
代に合ったお店づくりに役立、お客様還  
元できるように心がけています。私の中で  
はONとOFFの区別がありません。私の中で  
ねでも、仕事だと常に肩に力が入ってい  
るわけではありません。どちらかというと楽  
しみを仕事に生かしているという感じです。  
苦しみながら仕事をしている、いいアイデ  
アも出ませんし、何にいつてもお客様の目線

に立つことはできません。私にとってすべて  
の経験が、楽しみであり、仕事なのです。

## 今も自分の中に生きる、

甲南で学んだこと。

私が家業を継ぐことは生まれたときか  
ら決まっていたようなものですが、大学卒  
業後、すぐに家業は継がず、敢えて銀行に  
就職しました。同じ後継者である兄とは、  
当然のことですが同じ環境で育っているた  
め、考え方が似てきます。家族だからこそ、  
異なる発想や客観的な意見が出にくいこ  
とが経営面のリスクになることも大いにあ  
ります。それを防ぐためにも、時代の流れ  
や変化に対応できる柔軟な発想を持った  
経営者が必要だと思ったからです。また、甲  
南では経営学部や経済学部でなく、一番興  
味があった法学部で刑法と刑事訴訟法を  
中心に学びました。その頃からすでに、自分  
のポリシーを貫き、併せて、あらゆる事柄を  
違う側面から眺めてみたいといった思考が  
芽生えていたのです。

当時から甲南の学生は穏和で、人当たり  
がよいというのが世間での評判でした。授  
業で分からないことがあったら、みんなで教  
え合い、助け合。ことは日常茶飯事。そん  
な仲間や先生と過ごす中で、「競い合うの  
ではなく、支え合って生きていく」という甲  
南の精神が学んだことは、今も大切にし  
ています。

私は、お客様に対してだけでなく、つる家  
とともに働く人々、そして、仕事やプライ  
ベットの区別なく自分が関わること人すべ  
に一人の人間としてできることを精一杯  
させてもらおう、という気持ちで接するよ  
う心がけています。これまでも、そうすこ  
とでたくさんの方に支えられてきました。  
人と人が力を合わせる時、1+1=2で

# ひとりの経営者として 大切になっていることは、 甲南大学が教えてくれた 「人へのやさしさ」です。

株式会社つる家代表取締役社長  
出崎康司氏  
1994年甲南大学法学部法学科卒業

はなく、3にも4にもなるのです。素晴ら  
しいことです。よね。ユーモアあふれ、やさし  
く、人間味のある人材がそろった甲南。私  
の「人への接し方へのこだわりはこんな甲  
南生活が影響しているのですね。」  
今、荒波の中で生きるような時代にあつ  
て、この世界に生きていく人としてやささ  
が必要となるはずだと信じています。こん  
な時代だからこそ、現役学生のみならず  
も、緑豊かな環境、おらかな空気で過  
ごす甲南での経験をプラスにして、人  
間的に大きく成長してほしいと思います。

## 甲南Today 読者限定 特典チケット

このチケットを切り取り、  
つる家各店舗にお渡しください。  
ワンドリンクをサービス  
させていただきます。

〈サービス期間〉  
2009年  
12月31日(木)まで



つる家

キトリ

平成6年(1994年)  
甲南大学法学部法学科卒業。  
卒業後、銀行員時代を経験し、つる家に入社。  
京都つる家の経営を担いながら、  
つる家の事業を拡大。  
平成19年(2007年)  
株式会社つる家代表取締役社長に就任。

## つる家

明治41年(1908年)に大阪の北浜に創業。  
当時、日本初の洋風劇場として話題を集めた  
帝国座の観客や、淀屋橋を拠点に商売を行  
う豪商たちで賑わいを見せました。そして、  
昭和3年(1928年)より京都へ出店。  
以来、わが国の皇族方、政界人、はもとよ  
り、エリザベス女王陛下をはじめとする海外  
から国公賓の方々が来店するなど、日本を代  
表する料亭として、世界中の方々に愛され  
続けています。

## 出崎さん おススメの一軒

芦屋にある「串かつのぐち」さ  
んです。約10年前、風川に住んで  
いたことがあって、新規オープ  
ンということで足を運んで以来の  
おつきあいです。料理の質はもち  
ろん、お客様との距離感を大切  
にした接客、ナレーに感動しまし  
た。つる家の心と近いものがあ  
り、とても居心地のいいお店です。

## ●串かつのぐち

0797・25・0556

## つる家さんからの 読者特典

特典  
チケット

甲南Today NO.34を持参  
された方には、左ページのチケッ  
トと交換でつる家各店舗にて、  
お人様につきワンドリンク生  
ビール、お酒ソフトドリンクの  
いずれか1杯をサービスさせて  
いただきます。

## 〈サービス期間〉

2009年12月31日(木)まで

## 〈対象店舗〉

- 京都 岡崎の家  
075・711・0171
- 阪神百貨店 旬粋  
06・4706・3100
- サヘンニャ東京店  
03・6270・2715
- 京都つる家 松屋銀座店  
03・3538・7002
- 京都つる家 大丸東京店  
03・6895・2886



# 平生精神を受け継ぐ、独自の中高一貫教育。

6年間を3つの期間にわたった教育システムを展開。

今回はその最初のステップ、基礎期間をクローズアップします。

教育とは「ひと創り」と考える甲南高等学校・中学校では、受験本位の詰め込み教育ではなく、その教育の本質に立ち返って人物を育成する独自の中高一貫教育を展開しています。中学・高校の6年間を2年ごとに「基礎」「応用」「発展」という3つの期間にわたった教育システムを採用し、それぞれの段階において明確なテーマを設定。目標の定まった学びを行っています。

基礎期間【中学1年生・中学2年生】

一人ひとりを大切にたきめ細やかな学習・生活指導。

応用期間【中学3年生・高校1年生】

個々の個性・適性みつけのサポート。

発展期間【高校2年生・高校3年生】

ニーズに応じた学習と個性の伸長。

個性を知り、人間形成を重視した2年間。

通常の私立中学校では、特進コースなど1年生から複数のコースが用意されている場合が多いものです。しかし、甲南中学校1・2年生は「基礎期間」として全員が「ベーシックコース」に所属することになります。甲南では生徒のことを本当に考えるなら、学習面だけでなく、まずは、生活面での指導が重要だと考え、この2年間で人間形成の土台を築き、6年間の教育の基礎とします。学校には、勉強が得意な子や運動が得意な子、芸術に長けた子などいろいろな子どもが集まります。個性を大切に、最大限に能力を伸ばせるようにこの2年間は個性を知る期間であると考えています。そのため「基礎期間」はあえてコースを決めず、画一的な型にはめ込む方法ではない教育を行っています。

仲間つくりを通して、人を思いやる健全な心を育成。

まだ幼さが残る中学1・2年生では、人とのふれあい方や話し方が身についていない生徒も少なくありません。そこで「基礎期間」では、他人を思いやる心を身につけ、お互いに友達を「良き仲間」として認識する大切さを指導します。例えば、「オリエンテーション合宿」をはじめとした共同生活やグループワーク、大人としての言葉遣いの指導などの教育プログラムを充実させています。仲間との「コミュニケーション」を深める手段や協調性を学ぶことが甲南学園がめざす健全な心を育て、人間性豊かな青年を社会に送り出すこととなります。だからこそ、創立者平生鈞三郎の願った「ひと創り」の教育であるのです。

今回は、学生の個性を見極め、個人の適性に応じた学びを提供する、応用期間の教育について紹介します。

## 臨海学習舎

(1年生)

友達との関係を深める数々の共同作業を体験  
クラスがよやくなじんだ夏休み直前に、三泊四日で行います。各クラスで上演する出し物を考え、えいごのものを作り上げていく作業を体験。クラスの絆をさらに深めていきます。

## スタディ・ガイアリー

(1・2年生)

担任と保護者が連携し、学習習慣の定着をめざす  
宿題や家庭学習の状況などを書き込み担任と保護者が週1度確認できる連絡シートです。家庭で学習習慣を定着させ、学力の伸長をめざします。さらに今後の目標や1週間の反省、健康状態なども書き込み、より深く生徒を見守ることができ、成長の過程を確認することができま。

甲南中高が考える教育の本質は「ひと創り」。

個性をのばし、健全な心を育む甲南中学校で、今まさに成長する生徒にインタビューを行いました。

## ボートでの活動や友達との交流が大きな成長につながった。

中山 大志君 甲南中学校3年生

風を切って、川の上を走る。末体験の感動に出会った小学5年生。

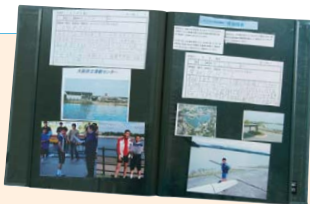
もともと体を動かすことが大好きで、ずっと野球に熱中していました。小学5年生のときに、地元の兵庫運河で変わったスポーツをしている人たちがいると聞いて見に行きました。聞くと、甲南大学漕艇部(ボート部)が練習中で、ボートに興味津々だった僕を見て、クラブの方が急遽ボートに乗せてくださいました。初めて乗ったボートは、全身の筋肉を使いオールを漕いで、風を切って川の上を走る。そんな道具と自分の体がひとつになったような不思議な一体感にとても感動しました。実は僕は、足に軽い障害があるのですが、それでも夢中になってオールを漕いで楽しめました。ボート競技は上半身の使い方が勝敗を決めるスポーツ。その場ですぐボート競技を始めることを決めました。

ボートでの活動を経験して、精神的にタフに成長。

僕は今、神戸ローイングクラブでシングルスカル種目の選手として、魚崎運河を拠点に活動中です。このクラブでも甲南大学漕艇部のOBの方がコーチとして教えてくださっています。選手が僕ひとりなので、マンツーマンで指導が受けられるという恵まれた環境にあるのですが、やっぱり良きライバル、友達になれる部員が入部してくれたらうれしいなと思っています。いろんな大会に出場した中で一番印象に残っているのは、意外にも優勝したものでなく、6位に終わった大雨の中での大会です。天候が悪くなるにつれ、体の調子も悪化。テンションが保てなくなり、遂にぐじけてしまいました。でも、ベストの力を出し切れなかったこのときの気持ちの弱さが、それ以降のバネになって、精神的にタフに成長したのだと思います。

甲 南生たちとともに過ごし、人とのつきあい方が身についた。

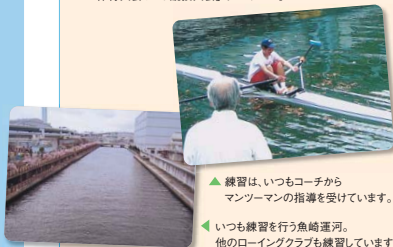
現在中学3年生ですが、振り返れば、甲南中学校に進学してよかったと思うことはたくさんあります。興味や関心のあるテーマを学ぶことを応援してくれる甲南中高は、ボートの活動をまとめたレポートも自学自修のひとつとして評価してくださるので、ボートへの活動意欲がさらに高まります。また、甲南中学の仲間はフレンドリーで、勉強でわからないことがあれば、教え合ったり、例えば、毎日の挨拶は忘れないとか、通路や扉では相手に譲るとか、学校ではいつでも、他人を思いやる気持ちを持っています。友達をつくるのが苦手だった僕も、おかげで人とのつきあい方を身につけることができました。これからも甲南中高で学び、将来は甲南大学漕艇部への入部をめざしてがんばろうと思います。



▲1年生のときに作った自学自修用の活動レポート。



▲高校生をおさえて優勝した「第63回兵庫県体育大会ボート競技大会」での1シーン。



▲練習は、いつもコーチからマンツーマンの指導を受けています。

◀いつも練習を行う魚崎運河。他のローイングクラブも練習しています。



▲昨年6月に開催された「関西選手権競漕会中学の部」で3位に入賞。



▲自分専用のボート。練習も大会もこのボートと一緒に。

個性を引き出す期間





# フランス甲南学園トゥレーヌだより

## Actualités du Lycée-College KONAN de Touraine-France

### トゥレーヌ新1年生に聞く!フランスでの学校生活。

2009年度が始まり、高等部1年に16名の元気な新入生たちが入学してきました。  
親元を遠く離れたフランスでの高校生活のなかで、新入生たちは何を考え、何を感じたのでしょうか。  
高校1年生の新入生たちへのアンケート結果(複数回答可)をピックアップしてみました。

#### enquête 1 入学してから一番楽しかったこと

- 第1位:「**研修旅行**」
- 第2位:「**体育祭**」
- 第3位:「**課外活動**」



研修旅行で訪れた町、アルカッションにあるデュヌドピラ砂丘での集合写真。

本校の特色である“フランスにある学校だからこそできる”取組みが人気を集めました。新入生にとっては新たな仲間たちとともにフランスを実感するよい機会になったようです。

第1位の「研修旅行」では、ルーブル美術館やエッフェル塔をはじめ、数々の憧れの地を訪れたバリエ研修に続いて、ワインの産地として知られるボルドー研修を行い、パリとは違うフランス西部の文化と歴史を学ぶ一方、大西洋に面したアルカッションでヨーロッパ随一と言われる砂丘に登るなど、日本人があまり訪れることのない土地での貴重な体験をしました。次いで5月に行われた「体育祭」が第2位。地元フランス人高校生と本校生徒が入り交った4つのチームで、優勝を争う本校伝統の体育祭は、新入生にとって非常に新鮮だったようです。「フランス人が本校生徒よりも多いのにびっくりした」というコメントを寄

せてくれた生徒もいました。第3位の課外活動は部活、寮行事に関するもので、放課後や休日を先輩や同級生たちと一緒に楽しむ機会になっているようです。

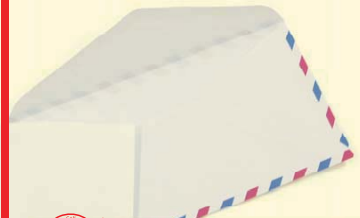
新入生にとっては、この3か月余りで見えるもの体験するものすべてが新鮮だったことでしょう。この“実物に触れ、実際に体験することこそが本校生の特権であり、実際にヨーロッパ・フランスで学び生活する意義深いところ。これから新入生たちは、単に言語や知識を修得するだけでなく、その根底にある風土・文化をさまざまな活動を通じて肌で感じ、人類の生み出した多様な文化の価値を実体験から学んでいきます。



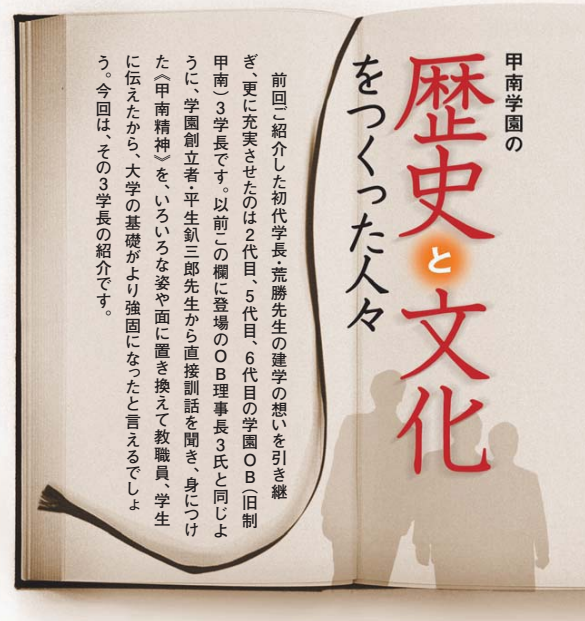
日仏混成チームで競う体育祭。玉入れや綱引きなど、日本でもおなじみの競技で盛り上がりました。

#### enquête 2 フランスに来て変わったこと

- 第1位:「**生活習慣**」
- 第2位:「**意識・行動**」  
「**フランス語の学習**」



夏休みが明けると、コース選択、ホームステイ・地元クラブなども始まり、新入生にとっては本格的に本校生としての活動を始めることとなります。様々なことに積極的にチャレンジし、貴重な経験を積んでますます成長してくれることでしょう。頑張れ新入生!



甲南学園の  
前回ご紹介した初代学長荒勝先生の建学の想いを引き継ぎ、更に充実させたのは2代目、5代目、6代目の学園OB旧制甲南3学長です。以前この欄に登場のOB理事長3氏と同じように、学園創立者平生鈺三郎先生から直接訓話を聞き、身につけた「甲南精神」を、いろいろな姿や面に置き換えて教職員、学生に伝えたから、大学の基礎がより強固になったと言えるでしょう。今回は、その3学長の紹介です。

甲南の特徴は、**自学自修により自己を完成すること。**

第2代学長(昭和43年12月〜45年9月)  
いちかわ まさし  
**市川 衛氏**

甲南高校1回卒、京大で動物学を専攻した日本の実験発生の先駆者。両母校の教授を経て、昭和42年甲南大教授となり、翌年の学長初公選に当選されました。就任の所信は事務機構の改革、建学精神の一層の実現などでしたが、自分が甲南生だった時の体験を語りながら、「この大学も理性的の場であり、研究と教育の道場、人物育成の府だ。甲南大の特徴は《その実践》、即ち自学自修により自己を完成するよう努力させる」を強調されていました。



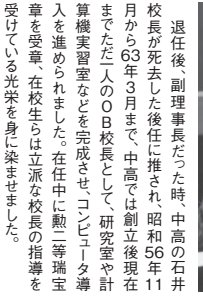
当時は全国に大学紛争が広がり、甲南でも学生が「希望する講座を要求するにも、反映させる場がない」「高額学費の経理内容が公開されない」となどと呼ばれました。そこで学長は「スポークスマン」を設けて情報を公表する「と、その時から《甲南広報》が発行されるなど、新機構作りの努力を続ける戦中発病、任期途中で辞任されたことは残念です。

平生精神は、一生を通じての指針。

第6代学長(昭和53年2月〜56年2月)  
いとう じゅんきち  
**伊藤 順吉氏**

大正3年生まれ、昭和8年甲南高校卒、平成21年没。

甲南高校8回卒、阪大で原子核物理学などを専攻、阪大教授として基礎工部部長や日本物理学会会長を歴任。昭和52年から甲南大教授。学長就任後学生に平生精神の教育はみなさんの自覚の上にはじめて実現される「建学の精神を単に4年の大学生活で終わるものとする、生を通じての指針と理解して努力を重ねてほしい」と励まされています。また施設拡充では新図書館建設、学部・学科研究棟建設などを進め、研究・研修制度や奨学金制度の充実などをめざされました。



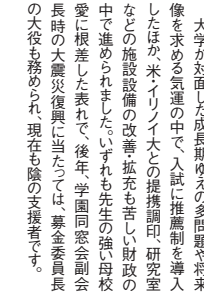
退任後、副理事長だった時、中高の石井校長が死去した後に推され、昭和56年11月から63年3月まで、中高では創立後現在まで2人のOB校長として、研究室や計算機実習室などを完成させ、コンピュータ導入を進められます。在任中に勲二等瑞宝章を受章。在校生らは立派な校長の指導を受けている光栄を身に染ませました。

甲南で学んだ自由と、何事にもとらわれない精神と能力で《不死鳥》に。

第5代学長(昭和50年2月〜53年2月)  
きぬがさ しげる  
**衣笠 茂氏**

大正11年生まれ、昭和17年甲南高校卒。

甲南高校17回卒、京大で西洋史を専攻して古典ギリシアの歴史と文化を追究、卒業後



は旧制甲南や岡山大で教鞭を取り、昭和33年から甲南大助教授、教授。講義を通して「先生からはとばしづらいような人間愛を感じた」と多くの学生が口にしていました。学長就任直後の卒業式では、当時の食糧危機、物価高騰、公害問題などの社会問題をとり上げ「甲南で学んだ自由と何事にもとらわれない精神と能力で《不死鳥》がりを立証してほしい」と励まされました。

大学が対面した成長期ゆえの多問題や将来像を求める気運の中で、入試に推薦制を導入したほか、米イリノイ大との提携調印、研究室などの施設設備の改善、拡充も苦しい財政の中で進められました。いずれも先方の強い母校愛に根差した表れで、後年、学園同窓会副会長時の大震災復興に当たっては、募金委員長の大役も務めました。現在も陰の支援者です。



# なるほど！ 甲南 アカデミア

先生、  
知の最前線を  
教えてください



**加齢や認知症によって  
低下する、  
文脈の記憶を研究。**

たとえば、普段料理をするときなど、バスタをゆでながらソースをつくったり、野菜を炒めたり、いくつもの作業を同時並行で進めることも多いものです。そのとき、急に電話がかかってきて、今行っている行為が遮られたとします。ひととおり電話で話を終えた後、はたと今まで何をしていたのだらうと思ひ悩むことがありませんか？人間は「今、何をやっているか」「現在」「以前、何をやっていたか」「過去」「なぜ、これをやっているか」「目的」を把握しながら日常の作業を行っています。これを、「文脈の記憶」と言います。加齢とともにこの記憶力は低下するものですが、とりわけ認知症の場合、この能力が極度に弱まるのです。その結果、火事など大事故を招くこともあるという訳です。人間の脳のメカニズムを解明する研究が進み、高次脳機能が近年注目を集めるなか、私は人間の脳活動のなかでも「記憶」をテーマに研究を行い、この文脈を記憶する能力をどうすれば向上させることができるかに取り組んでいます。

## 「記憶」をテーマに 人間の脳のメカニズムを解明し、 認知症の予防・改善に役立てる。

本誌前号の当コーナーにおいて、曾我部晋哉講師（スポーツ・健康科学教育研究センター）が「認知症予防のための脳と運動の関連性の解明」を研究していると、言及していたことを読者のみなさんは覚えてくださっているでしょうか？今回は、その研究を曾我部講師と共同で進めている知能情報学部 前田多章准教授の研究をご紹介します。加齢とともに誰もが気になる脳の老化や記憶力の低下。それが、ちょっとした工夫や心がけて改善できたら……。急速な高齢社会を迎えるなか、認知症の予防や症状改善への応用をめざして「記憶」の研究を行う、前田多章准教授がお話します。



**必読！認知症を予防する  
生活習慣を教えます。**

先進国を中心に日本でも高齢社会が今後急速に進むなか、アンチ・エイジングによるQOL（クオリティ・オブ・ライフ）の向上は、急務の課題です。現在、本学総合研究所のプロジェクトに、私が参画する研究「認知症予防のための脳と運動の関連性の解明」が採択されており、今後ますます私の研究を記憶や学習機能が低下する認知症の予防・改善に役立てていきたいと考えています。

最後に、甲南Todayを読んでくださっている方に、認知症の予防に役立つ生活習慣のアドバイスをしたいと思えます。注目すべきに、認知症の予防、つまり記憶能力の維持・向上には睡眠が大きく影響しています。みなさんもご存知だと思いますが、睡眠には、ノンレム睡眠（深い眠り、脳を休める睡眠）とレム睡眠（浅い眠り、身体を休める睡眠）があり、ノンレム睡眠には、恐怖感覚などの脳にとつけない記憶を消す役割、レム睡眠には「昼間に学習したことなどを脳に記憶として定着させる役割」があります。そのため、この2つの睡眠がきちんとあれば、イヤなことなどを忘れて、いいことを覚えていられる訳です。また、

昼間は脳がオーバーヒートぎみになるため、15分〜30分の昼寝により脳の一部を休ませることが、認知症の予防に効果的です。また、睡眠時間が5時間以下、もしくは8時間を超える人は罹患リスクが高いというデータがあり、理想の睡眠時間は6〜7時間前後でしょう。その際、寝室の環境（28℃で湿度50%や寝る時間（夜11時までに就寝）にもこだわって、質のいい睡眠をとって、認知症の予防に役立ててください。



医学博士である前田准教授は、医科学をベースに、健康科学について研究するのが特徴。

**香りによって、  
人間の脳の働きは変わる。**

もうひとつ、私が近年行っている「記憶」をテーマにした研究があります。それはアロマ（芳香）が脳にと



前田准教授は、MRIやEEG（脳波図）、MEG（脳磁計）といった最新の測定装置を組み合わせて、多面的かつ3次元的に解析し、より精密な脳のメカニズムを解明する実験を行っている。

のように働くか。植物から抽出された精油を使用し、その香りによりストレス軽減など心身の健康をはかる伝統療法アロマセラピーは、近年リラクゼーションなどにも用いられ、女性に人気があります。その香りの作用はさまざまですが、記憶力を強化するものもありません。たとえば、脳を活性化させるヘパミントは短時間で集中したいときに効果があり、ランペーターは脳の疲労を鎮める神経伝達物質を分泌する働きがあることから、長時間にわたって作業を行う際に有用だと言われています。こうしたアロマの成分の化学的効果は古くから実証されていますが、それが脳のどの部分にどう作用しているかは、いまだ詳しく解明されていません。そこで私の研究では、普通に作業しているときと、香りを嗅いで作業をしているときと、脳の活動や記憶能力がどのように異なるかを実験により検証、香りを嗅ぎながら作業をしているほうが、前頭葉の働きが活性化されることも実験から明らかになりました。今後は、さまざまな香りに対して、脳のどの部分が活性化するかをより深く探っていく予定です。香りによって作用する脳の神経伝達物質がわかれば、集中力や記憶に有効な方法の解明や医薬品・食品の開発に役立てることも可能になります。

前田准教授の  
近 著



今日の眼疾患治療指針  
医学書院 ¥25,200（税込）

前田准教授は、電気生理学的検査、多チャンネル脳波計、脳磁計などの分野について執筆を担当している。

知能情報学部  
前田多章 准教授

1999年、慶應義塾大学大学院医学研究科博士課程修了。博士（医学）。現在の研究課題は、①環境が記憶能力に及ぼす影響②認知症における記憶能力③言語理解におけるWorking Memory。全沢工業大学人間情報研究所学術フロンティア研究員。



## そして今、現役生たちは…



2009年の会宿における現役部員たち

2009年7月、日本学生選手権(インカレ)出場資格を得るためのラストチャンスとなる大会である天理チャレンジ大会において、甲南大チームは800mリレーでインカレ標準記録を突破。個人種目では毎年出場を果たしているものの、リレー種目としては3年ぶりに出場権を獲得した。関西学生選手権においては、ここ数年1部昇格、2部降格を繰り返しており、今年は男子・女子とも2部にいる。現主将の堀川さんは「2部で優勝して、ぜひ1部昇格をめざしたい。水泳部の伝統を受け継ぎ、僕を中心に年間スケジュールを立てて、より効果的な練習内容を常に考えています。今後は、栄養管理など科学的根拠にもとづいた身体づくりもきっちり行っていきたい」と抱負を語る。

また、昔も今も、スタイルは違っても、クラブの結束は変わらない。「厳しい上下関係も大切にしつつ、下級生も上級生に意見を述べられる部にしていきたい」と、中村さん。さらに、次期主将に就任することが決まっている天野さんは、「タイムが出たときの喜びは、他のことでは味わえません。そして、私たちの学年は2人しかいないので、部員ももっと増やしたい。合言葉は、真剣に楽しく。おのずと水泳好きが集まるから、仲もいいんです」。これまでの伝統を受け継ぎながら、新たな水泳部の伝統もつくりはじめる、現役生のこれからに期待したい。



水泳部に代々伝わる部旗

## 取材にご協力いただいた方

卒業生：野村和興さん('67年経卒)、野村克彦さん('高'65年卒 '69年経卒)、松尾滋久さん('70年法卒)、磯辺明裕さん('高'78年卒 '82年経卒)、橋高錦昌さん('高'91年卒 '95年法卒)、島居恒夫さん('高'91年卒 '96年當卒)、大長敬幸さん('05年経卒) 現役生：堀川淳司さん(法3)、中村健太郎さん(理3)、天野翼さん(當2)

ました。罰則で私が一度坊主にさせられたとき本当に部を辞めようと思った。でもそのとき、お母が諦めるなら同じように坊主になつてくれた仲間にはジーンときました。また、今考えると、お酒の席で振る舞い盛り上げ方など水泳部で教わったことが社会に出てから大に役に立っているからねと語る。大学に入れば、社会の誘惑も広がり、さらに厳しい練習と上下関係もあるなか、4年間水泳を続けるには相当な精神的強さが不可欠だ。それでも多くの部員がクラブを辞めないのは、水泳が好きという同じ気持を持つ仲間がいるから。メンバーの仲が良いのは、そういうベースがあるからなのだ。だが、メンバーの団結力とは裏腹に、水泳部自体は、1部に上がっては2部に落ちるアップダウンを繰り返していた。

そんな時代を経て、92年からはスポーツ推薦入試制度がスタートし、水泳部にも毎年精鋭たちが入部してくるようになっていた。また、現在も水泳部に受け継がれるのが、選手自らが自主的に練習メニューを考えること。いかにすれば効果の高い練習ができるかを考え、アメリカカのトレーニングなども参考に、キャプテンやマネージャーみんなで頭を突き合わせて練習のメニューをつくりました。コーチがいなくても自分で考えてやるを得ないのですが、今思えばこのおかげで責任感や自主性が養われましたねと話すのは、同じく3兄弟の次男である'69年卒の野村さん。午前中だけ5000m×2本をこなすハードな練習メニューにも、みんな泣き言を言わず、必死で食らいいて練習するタフな風気があった。それが功を奏し、水泳部はメキメキと

重責があったんだなということにも気づきましたと語る。

こうした水泳部の魅力で、'05年卒の大長さんはこう語る。「水泳というスポーツはどんなに苦しくても、自分がやるしかない孤独な一面もありま

でも、好きなことに全力で取り組む自主性や精神的強さ。現代の若者に伝えていきたい宝物が数多くつまっているのではないだろうか。



1981年(昭和56年)の学習院戦(旧大学プールにて)

## 甲南クラブステップ

## 体育会水泳部

孤独な戦いを乗り越える  
タフな精神と団結力は、  
現代にこそ輝く。

1965年(昭和40年)体育祭にて

厳しい上下関係。恵まれな、練習環境。だけど、情熱があった。

水泳部は、'54年の創部以来、上下関係が厳しいことで知られている。下級生に許されるのは、先輩の言うことを聞くときの「はい」と、先輩におつてもらったときの「いつかあ」の2言だけ。兄弟3人が水泳部に所属した'67年卒の野村さんはその頃を振り返る。私は、当時クラブで2番目にタイムが速かった。だから、ちょっと生意気な後輩でした。でも、先輩から言われたことは絶対服従で、必ずやりきったものです」と語る。今では考えられないほど厳格な上下関係があったようだ。

また、現在も水泳部に受け継がれるのが、選手自らが自主的に練習メニューを考えること。いかにすれば効果の高い練習ができるかを考え、アメリカカのトレーニングなども参考に、キャプテンやマネージャーみんなで頭を突き合わせて練習のメニューをつくりました。コーチがいなくても自分で考えてやるを得ないのですが、今思えばこのおかげで責任感や自主性が養われましたねと話すのは、同じく3兄弟の次男である'69年卒の野村さん。午前中だけ5000m×2本をこなすハードな練習メニューにも、みんな泣き言を言わず、必死で食らいいて練習するタフな風気があった。それが功を奏し、水泳部はメキメキと

無我夢中で泳いだ。  
その先には固い絆があった。

その後、時代は変わり、太学生たちの体育会離れに拍車がかかっていた。中高とも水泳部に所属した'82年卒の磯辺さんも、大学生生活は思いっきり遊んでやるうと意気込んでいた。だが、先輩の勧誘により、大学4年間を再びプールで過ごすことになる。「シーズンオフになる10月まで、肉体的にポロポロになるほど厳しい練習が続き

頭角を現し、野村さんが1年次に2部で優勝し、その後1部の常連となった。同じ時期に、4年間1部リーグの地位を維持し、水泳部の栄光の時代を築いたひとり、'70年卒の松尾さん。彼は、4年次の関西学生選手権800mリレーのアンカーだった。150mのターをを終え、あと50mを泳ぎきれば1部に留まれるということが決まったときの安堵感を今も忘れないという。「800mリレーは、大会のフィナーレを飾り、この結果が順位を左右するものもあって毎回盛り上がる種目。関西でトップの実力がある後輩を来年も1部で泳がしてやりたいと、ただただその気持ちで泳ぎました」と、松尾さんは語る。

| クラブの歴史 |                                                                                                             |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1954年  | ● 水上競技部創部 関西学生水上競技大会2部4位                                                                                    |
| 1955年  | ● 関西大学2部にて定期戦を結び、交戦競技が開始                                                                                    |
| 1956年  | ● 関西学生水上競技大会2部2位                                                                                            |
| 1957年  | ● 関西学生水上競技大会2部1位                                                                                            |
| 1958年  | ● 第一回学際院大会定期戦                                                                                               |
| 1959年  | ● 甲南に体育会が正式発足                                                                                               |
| 1960年  | ● 関西学生水上競技大会2部2位                                                                                            |
| 1961年  | ● 資金面において個人負担が重なり、部員全員で午前中アルバイトをして資金を捻出した                                                                   |
| 1962年  | ● 現役1・2年次が5人となり、フルエントリーが可能になる。だが、4年次のがんばりににより関西学生水上競技大会2部を守り抜いた                                             |
| 1963年  | ● 0日会館結成                                                                                                    |
| 1964年  | ● 現役後援10人の協賛により、関西学生水上競技大会3位に残留                                                                             |
| 1965年  | ● 1年13人が入部。何となく立ち立つ                                                                                         |
| 1966年  | ● 関西学生選手権水上競技大会2部初優勝、1部昇格                                                                                   |
| 1967年  | ● 2部に降格                                                                                                     |
| 1968年  | ● 0日会館入水会に改名。会館を2回に、関西学生水上競技大会で総合優勝を飾る。1部昇格。400mメーリレー優勝、400mリレー優勝、800mリレー優勝、800m自由形優勝、200m背泳ぎ優勝、100mバタフライ優勝 |
| 1969年  | ● 関西学生選手権2部5位、以降4年連続1部残留を果たす                                                                                |
| 1970年  | ● 水泳部創立以来初めて、自由形で野村実選手が日本選手権1部5位                                                                            |
| 1971年  | ● 野村実選手、日本選手権において、100m自由形57秒99で全国5位                                                                         |
| 1972年  | ● 関西学生選手権1部5位、野村実選手は100m自由形で日本記録をもち、10年破られずにいる                                                              |
| 1973年  | ● 兵庫学生選手権優勝以降9年連続優勝を飾る                                                                                      |
| 1974年  | ● 関西学生選手権1部昇格                                                                                               |
| 1975年  | ● 関西学生選手権1部昇格                                                                                               |
| 1976年  | ● 日本学生選手権、以降2年連続出場                                                                                          |
| 1977年  | ● 関西学生選手権1部昇格                                                                                               |
| 1978年  | ● 関西学生選手権2部2位                                                                                               |
| 1979年  | ● 関西学生選手権総合8位                                                                                               |
| 1980年  | ● 女子選手権男子1部総合2位                                                                                             |
| 1981年  | ● 本年度、大会力時、主将山崎重樹選手、200mバタフライで日本学生選手権出場決定。また、800mリレーリレー宮井阿部山崎天野で日本学生選手権出場決定                                 |





## Kitchen Kitchen

地図②

女性用でしょ?!  
 いえ男女兼用です★



お店の  
 オススメ商品!  
 (小物入れ)

岡本を本店とし、関東地区にも展開している女子大学生に大人気の低価格輸入雑貨店。おしゃれな白い陶器やかわい小物がお揃い並びに並び、また日傘やマフラーなど季節ごとに商品が入れ替わって、いつ訪れても楽しめる。一人暮らしを始めたばかりの人や若いカップルなどを主なターゲットにしていますが、店内には主婦の方や男性も目立ち、老若男女問わず、気軽に入ることが出来ます。さらに、大量注文にも対応できることから、飲食店のオーナーさんたちにも大人気! お店はとてもおしゃれな雰囲気なの商品にどれも求めやすく、なっていますので、ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

## 甲南そば

地図①

昭和40年から岡本商店街に店舗を構える甲南そば。アットホームな雰囲気の店は、お昼になるとたくさんの学生や地元の方でにぎわっています。実は、初めは牛乳屋さんで、その後うどんや定食、カキ水などを提供する「ミルクホール」というお店になり、そして、現在のそば屋さん。時代の流れによって甲南そばがきたという逸話があるのです。最近では、どんな新しい店が増え、様変わりしている商店街ですが、老舗の味を守り、一生懸命を込めて作られているおそばを食べてみてください。甲南Todayの特典として2010年1月末まで、50円引きで提供させていただきます。



どこが懐かしい  
 雰囲気の店内。

## Pee Kaa Boo

地図③

甲南生のクラブやサークルが、オリジナルグッズを製作するために、長年お世話になっているお店です。30年以上も岡本商店街で仕事をされていて、いつも甲南生を見守り続けてくれています。団体・個人問わず、5枚以上から商品をつくってもらえます。お値段もリーズナブルで1枚1800円前後だということ、新しい活動や記念行事などにぜひ思い出の品をつくってほしいです。



## ★特典について

甲南ハイボール・Brats・甲南そば  
 今回、この甲南Todayを持参するか、右のQRコードから甲南モバイルにアクセスし、クーポン画面を呈示していただく★印の特典が受けられます。



## ●今回取材に参加した学生たち

吉本 聖(法3) 堀田 寛大(法4)  
 田上 敦博(文3) 池田 碧(法4)  
 中村 友梨香(法3) 山内 陽子(法4)  
 小宮 美奈子(文1) 正寺 慶子(経営4)  
 奥野 美奈子(文1) 木口 由香子(経済4)  
 上野 良介(文専)  
 このコーナーは、全て学生がインタビュー  
 写真撮影を行いました。

# 岡本商店街へ 行こう!



- ① 甲南そば
- ② Kitchen Kitchen
- ③ Pee Kaa Boo
- ④ Brats
- ⑤ 甲南ハイボール

「今の岡本商店街を知りたい」という甲南大学OB・OGの方の声に、今回私たち学生が岡本の町を取材しました。昔からずっと親しまれている名店から最近オープンした学生に大人気のお店まで…「ずいぶんと岡本に行っていないなあ」というOB・OGの方々や「行ったことがない」という学生の皆さんは必見です!!



コラボスイーツ。  
 ソーセージが  
 スイーツ?!



フィギュアも  
 いっぱい。



★現在販売中の「甲南・Brats」が50円引きにて提供されます。(2010年1月末まで何でも使用可。クーポン一枚で、お一人様のみ。)  
 詳しくは20ページ下「特典について」をご覧ください。

## 甲南ハイボール

地図⑤

1985年の創業以来、甲南生や地元の人々に愛され続けている。甲南ハイボール。「おいしいお酒と料理の心意気」、多くの皆様という店長の心意気のもと、種類豊富なお酒を店長が一杯一杯丁寧に作っています。料理もビザやパスタなどの洋風からだし巻きやピザやカツなどの和風まで数多く、味も最高です。週末には、学生ばかりではなく、甲南の卒業生もたくさん集まって、思い出を語り合ったり、現役生と卒業生とが交流したりと甲南大学関係者の熱気が溢れています。そんな甲南ハイボールと私たちは今回、甲南学園創立90周年を記念して、オリジナルカレンダーをコラボレーションしました。詳細は行ってきたらのお楽しみ! ぜひ、友人を誘って甲南ハイボールへ。



ハンサムなマスターが  
 お待ちしています。



## 一口メモ

甲南ハイボールでは、甲南学園創立90周年記念として、もう一つ企画してくれました。それは、なんと!! サントリーさんのご協力のもと、「角ハイボール」をもじった「甲南ハイボール」というネーミングのポスターを作ってくださいました!! こちらも店頭で、要CHECK!



- ノンアルコール(写真右) 350円
- カクテル(図) 420円
- カクテル(強) (写真左) 470円

## Brats

地図④

ホストドッグの看板が目印のBratsの店内は、アメリカンな雰囲気が漂っています。店長さんの趣味で、映画のポスターやマンガ、フィギュアなどがたくさんディスプレイされていて、見ているだけで飽きることがなく、また世代を超えて楽しむことができます。もとの会社が、酒井食品会社という精肉販売のお店なので、ホストドッグに使われているおいしいソーセージを直接買うことができ、主婦の方にも大人気です。また、イベント活動にも積極的に参加していて、阪急百貨店の物産展やスポーツの大会等に出張して販売することもあります。現在、甲南学園創立90周年を記念して、「甲南・Brats」というソーセージを使った新感覚スイーツが販売されています。甘いものが大好きな方はもちろん、男性も女性もぜひご賞味あれ。



めっちゃ  
 美味!!

最高~!!



# え!? 谷崎潤一郎と 甲南学園が 関係あるって本当?

〜細雪と甲南学園の意外な関係〜

長く関西に暮らし、とりわけ阪神間の優雅な文化を愛した谷崎潤一郎。そんな谷崎の代表作『細雪』には、なんと甲南学園が深くかかわっていたという噂を聞きつけました。今回の特捜部は、甲南学園と谷崎潤一郎の関係について迫りました。



## 『細雪』で描かれた、 「阪神大水害」の リアルな風景。

足許に小蟹が二匹よろ〜  
歩いてゐるのを見つけたが、  
大方此の蟹どもは今の小川が氾濫したので  
線路の上へ逃げて来たのであらう。

(谷崎潤一郎「細雪」上・中・下巻 中巻より)

これは、かの有名な谷崎潤一郎の大作『細雪』のなかの一文。4姉妹の次女幸子の夫貞之助が、水害後の惨状を表現したくだりです。ご存じの方も多いと思いますが、細雪は芦屋・神戸を中心にくりひろげられる物語。この水害とは、昭和13年7月、連日の雨が原因となり起きた「阪神大水害」であり、谷崎自らの体験をそのまま物語として描写したものです。あまりにリアルな表現のため、報道管制下にあった当時、阪神大水害の具体的な状況を日本に広く知らしめたのはある意味で『細雪』であったとも言われたほどでした。

谷崎は住吉川沿いにある住吉村の反高林(たんだ

足もとにかく「二匹るる」を発見した。  
住吉川に居れなくなつたので  
上つて来たのだらう。

この文章は記念帳に収録されている甲南生の感想文。どこかで読んだことのある文章だと思いませんか? 冒頭で紹介した細雪の一文とこの文章を比較してみて下さい。どちらの文章も「2匹のカニが川から上つてきた」というまったく同じ情景を描写しています。しかし、これは決して偶然ではなく、谷崎が甲南生の作文を参考にしたからなのです。谷崎は、昭和31年5月の雑誌「文芸」第10巻4号「臨時増刊『谷崎潤一郎読本』」の座談会の席で、次のように発言しています。

実際あの時はあそこにもいたもんだから、  
見えたんだけれど、  
自分で見ないこともたくさんあったんですね。  
あの時に甲南小学校の生徒の作文を、  
作文集があるんですよ。  
それをみんな読みました。  
小さな蟹が出てくる所なんかは、  
作文集から取ったんです。

実は、谷崎自身が述べているこの部分は、旧制甲南高等学校尋常科(現在の中学校に該当)の生徒であった富山康吉氏の文章を引用しているのです。昭和14年に甲南尋常小学校が刊行した「甲南小学校児童文集」という文集もあるのですが、小さな蟹が出てくる場面の描写は、記念帳の中の富山氏の作文だけに見られる表現です。和田貴氏・神戸大学名誉教授の詳細な検討によれば、甲南学園の「阪神地方水害記念帳」(昭和13年発行)に所収された生徒たちの作文のうち、15編が「細雪」の中の文章に取り入れられており、細雪の執筆活動に大きな影響を与えてい

かばやし。現在の東灘区住吉東町(周辺)と呼ばれる地域に住んでいました。「倚松庵(いしやうあん)」と名づけたその邸宅は、住吉川のほとりにあり、今も観光名所としてたくさんの方が訪れます。しかし、谷崎の住んでいたこの住吉村の反高林(たんだ)は自然堤防の高地にあり、実際は水害の被害がなかったとの記録が残っています。また、後に谷崎自らがこの作品について語った「細雪回顧」(昭和30年、谷崎潤一郎全集第22巻所収)の中でも、細雪の水害描写は自らの体験だけで書き上げたものではないとの発言があります。それでは谷崎はどのようにして、リアリティある水害描写にたどり着いたのでしょうか。その答えは、甲南学園に隠されているのです。

## 甲南学園と 谷崎潤一郎をつなぐ、 「阪神地方水害記念帳」。

阪神大水害の影響が大きく、甲南学園も甚大な被害を受けました。そんな当時の被害状況を旧制甲南高等学校がまとめた「阪神地方水害記念帳」という冊子があります。実は谷崎は、水害を描写するにあたり、この記念帳を参考に行っていたのです。

たことがうかがえます。ちなみに、この「細雪」について「ああした文章はどうしても書けない」と、同じ小説家である三島由紀夫が大きな賞賛を述べています。旧制甲南高等学校の生徒たちの作文は、昭和13年の大水害の生々しい記録であるという以上に、文学的にみてもきわめて秀でた表現力を持つものであることが見出せるのです。



1996年に復刻された  
「阪神地方水害記念帳」

## 災害で発揮された、 平生 三郎の 「共働互助」の精神。

一方で、この阪神大水害は、地域に大きな被害をもたらしました。その際、甲南学園の教師と生徒が一丸となり、学校だけではなく、周辺の道路や住宅などへの復興作業に取り組みました。彼らは二つの団体に分かれ交代制で作業をし、その整然とした活動は近隣の評判になったそうです。そのバックボーンとなったものは、共に働け助け合う「共働互助」の精神。これは、甲南学園の創立者である平生三郎が重んじた精神に他なりません。そして、この災害を振り返り、平生が残した言葉こそ、甲南大学の1・3号館前に設置している石碑でもおなじみの「常三備へ」でした。苦難の際に地域とともに助け合う精神は、時代を超えて今もわれわれ甲南学園に受け継がれているのです。



水害復興作業で  
助け合う甲南生  
たちの姿



## 番外編! 他にもあった、 甲南学園と細雪の深い関係。

細雪の水害のシーンには、甲南生が頻りに登場し、甲南にゆかりのある場所や地名も数多く出ています。例えば、水害が起こった日、貞之助が妻の妹、妙子を洋裁学院まで迎へに行くシーン。水害の状況を伝える甲南生が登場しています。さらに、激しい水害に心細くなった貞之助が、道中を甲南生と一緒に歩く場面も描かれています。また、同じ洋裁学院に向かうシーンでは、甲南女学校、甲南高等学校をはじめ、本山駅(現摂津本山駅)など、甲南O.B.O.Gのみならず、身近な建物や施設が登場。中には甲南学園かつての甲南女子学園を指す「前バス停留所」など、今でも残っている場所もあります。甲南周辺の地図を広げながら細雪の世界に触れると、また違った発見があるかも知れません。



【水害シーンが描かれている地域周辺の地図】







25